

ふくしまで
「暮らす。働く」

グエン・ティ・ヴェット・フォンさん

ふくしまで「暮らす。働く」ステキな人にお話を伺います。今回は、ベトナムのハノイから日本語と簿記を学ぶために来日して4年目のグエン・ティ・ヴェット・フォンさんです。



■ 好き! が仕事に

フォンさんは日本語検定1級と、簿記2級を取得し、2017年4月からは郡山市の三部会計事務所で働いています。「(仕事は)まだ始まったばかり、勉強中です。」と謙虚に話すフォンさん、所内で基本的な業務を勉強しながら、「電話対応でお客様の会社名や名前がまだ聞き取れないことがある。それが悲しい。」と、もっと日本語を上達させたいとがんばっているそうです。学校生活や会計の勉強も楽しんで、「好き!」が仕事になったというフォンさんは、現在もいろいろなことにチャレンジして「毎日が楽しい」と笑顔で話してくれました。

■ 村上春樹から福島へ

ベトナムの大学で日本語を専攻したフォンさん。日本文化に興味があり、好きな作家の村上春樹の小説は全部持っているそうです。日本に来るなら日本語だけでなく、将来日本の企業で勤めるために、会計も学ぼうと、郡山市の国際ビジネス公務員大学校に進みました。震災後の福島についてもしっかりと情報収集をし、判断して来たとのことで、今では「復興に向かっていく姿に感動」しているそうです。ベトナムのみなさんには「日本の中では福島が一番! みんなに来てほしい。自然がいいし、お米がおいしいです。」と伝えたいし、福島のみなさんには「そんな姿をもっと発信してほしい」と思っています。

■ 事務所と一緒に広がる夢

フォンさんについて、「真面目だし、積極的」、特に「素敵なのは、何かに誘うと、まず行ってみること。付き合いが広がり、そこでもまた新たなつながりを作っていく」と話すのは、所長の三部吉久さん。「外国出身者の採用は初めてだが、説明会への参加など通常の就職活動の結果、採用したそうです。事務所では一昨年、お客様のベトナム視察ツアーを実施したそうですが、「第二弾はフォンさんに通訳兼ガイドを、と企画中」とのこと。「県内から進出する企業や今後進出したいと考えている企業ともつながっていき、アジアとの関わりもできるし、事務所としても新しい可能性が生まれ、フォンさんと一緒にどんどん広がっていく。会社として育成していくのが楽しみな人材です。」と三部さん。

「今、ベトナムから日本に進出している企業もたくさんある中で、困っていることがあるだろうから、できるだけ税法についてアドバイスできたらいいなと思う」と言うフォンさん。将来は「ベトナムで支店が開けたらいいな」と、夢を話してくれました。

三部所長が「いつも楽しくなるように行動していて、とても前向き。みんな、刺激を受けています。」と評するフォンさん。事務所と一緒に福島からベトナム、そして世界へ、ぜひ夢を実現してほしいです。



フォンさんと三部所長